

南砺市長
田中 幹夫 様

要 望 書

約 100 年前に 10 年間で 3 度の大きな干ばつによりこの地域は甚大な被害に見舞われました。これを契機に、国、県、町村、住民の総力で年月をかけ赤祖父川を堰き止め、赤祖父溜池が構築されました。つづいてザル田と云われた庄川扇状地の田圃の改造が検討され、井口、北野地区の山を中心とした流水客土による工法で、見事に肥沃な土地に改造された歴史があります。一方では流水客土により削り取られ荒れ果てた山肌の対策が大きな課題として残り、先達たちの知恵と努力により多くの地権者の理解を得て、跡地利用として甦って誕生したのがトナミロイヤルゴルフ場であります。

それは営利目的として造成されたゴルフ場とは少し違い、あらゆる面で質素ではありますが、戦略性に富んだ楽しいゴルフ場として評価を頂いています。

この様に意義深い歴史は、地域社会と共存共栄すべく宿命を背負って誕生したゴルフ場と考えています。

今年は開場以来 30 周年を迎えています。この節目を契機に、業界並びに地方でも数少ないジュニアおよびレディスを対象としたゴルフレッスン教室を新しく誕生させることを計画しています。

近年のゴルフ人口の減少傾向は、業界全体の大きな課題の一つです。昨年末から発生した新型コロナウイルスのパンデミック現象の中では、ゴルフに対する考え方が確実に上向きに変わってきていると思われます。

この度のレッスン教室の計画は、必ずや当ゴルフ場への利用者増に繋がり、少なからず市民の健康促進に役立つ機会にも繋がるものと確信いたします。

しかしながら、開場当初に設備された練習場は、30 年の間で整備が行き届かず、状態は著しく荒れ果て、来場者の利用もまばらな現状です。これから希望をもって練習を始めようとするジュニアおよびレディスの皆様には、イメージとしては決して相応しくないと考えています。教室の参加者ばかりでなく、本来プレー前のウォーミングアップとしての練習は、夫々のスコアアップに繋がり、よりプレーを楽しんでいただけます。

このようにゴルフ練習場の改造工事は、今後のゴルフ場の運営には避けられない問題として考えます。

市内唯一のゴルフ場の存続をかけて、収益性のある、そして競争力のあるゴルフ場を目指して取り組んでいきますので、何卒ご支援下さるよう宜しくお願い申し上げます。

令和 2 年 10 月 27 日

トナミロイヤルゴルフ株式会社

代表取締役社長 岡部 一輝

